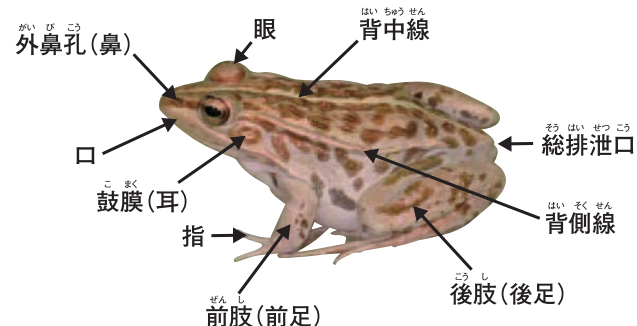


オタマジャクシからカエルへ

動物の多くは生きるために必要な栄養分を食物から得る必要があり、それを求めて行動します。しかし、動物は種類によって生活の場所、食物のとり方、運動の方法、周囲のようすを知る方法などが異なるため、行動が違ってきます。そのことが体のつくりの違いにもつながっています。

特に、水中から陸上へと生活域を大きく変える両生類では、オタマジャクシからカエルへ変態する間に体のつくりが劇的に変化します。どのような変化があるのか、観察しましょう。また、同じ水中生活をする魚類と比較してみましょう。

- 観察日時： _____
- 観察場所： _____
- 天 気： _____
- 気 温： _____



1. オタマジャクシとカエルの生活する場所や、体のつくりの違いを比較しよう。

		オタマジャクシ	カエル
すむ場所			
移動の方法			
移動に用いる器官			
尾			
ヒレ			
足	前足		
	後足		
口			
外鼻孔(鼻)			
鼓膜(耳)			
体の色や模様			
皮膚のようす			
脊椎(背骨)			

2. 変態にともなって、体の部分がどのように変化するか、観察しよう。

野外で後足の発達したオタマジャクシを採集し、前足が出た日(1日目)から尾が完全になくなるまで、観察して記録しよう(変態の期間は、気温や室温によって変わります)。

	変態のようす	観察で気づいたこと
1日目		
2日目		
3日目		
4日目		
5日目		

3. 同じ水中生活をする魚類は、オタマジャクシとどこが違うか、比較しよう。

